

別添資料6 『財務会計事例研究』科目概要(2005年度シラバスより抜粋)

<p>科目名</p>	<p>財務会計事例研究</p>
<p>授業内容</p>	<p>会計プロフェッションとして必要な技能の習得は、実社会において経営体(企業を含む。)が直面するさまざまな課題に対して、会計的思考を基礎とし、経営体の意思決定、行動、並びに社会的規範に関連する知識及び技術を駆使して、個々の課題の解決を図り、これら一連のプロセスを繰り返すことによって、その達成が可能となる。</p> <p>本講では、高度に発達した資本市場とりわけ証券市場における投資の意思決定への有用性を意識しつつ作成した事例を用いて、基本科目で習得した知識や技術が有機的に結合され、技能に昇華するプロセスを擬似体験できるように配慮する。</p> <p>講義は、全員参加型で事例を検討し、質疑応答を交えながら議論し、論点を整理しつつ進めますので、会計プロフェッションとして必要な技能の習得ばかりではなく、副次的効果として、論点析出能力、問題解決能力、及び文章若しくは口頭による説明能力の向上も期待できると考える。</p> <p>本講では、会計情報のもつ、投資情報としての有用性・意思決定へのバイアス効果を意識しつつ討議を誘導したい。</p>